

受託測定

CONTRACT MEASUREMENT



丁寧さ、正確さ。

弊社は四半世紀以上の長きにわたり、測定治具、装置を世に送り出すだけでなく、それ以上に非常に多くのお客様よりの、試料の受託測定をお受けして参りました。

弊社は小さな会社ですが、この規模においては他に類を見ないほど、ネットワークアナライザ等の設備が整っており、また、そのメインとなる Agilent 製のアナライザは、毎年校正をかけて、データの信頼性を高めています。

しかし、測定器だけがよくても、いい測定結果は得られません。やはり測定するのは人。測定する職員が、しっかり確実に行うという意識を持って取り組んでおります。

また、測定時には手足ともなる道具、工具についても、日常から整理整頓を心がけ、大切に扱っております。

そうして、ひとつひとつの作業を、丁寧に、正確にこなしていくことが、この道 30 年近くの継続、そして多くの研究機関、大学、企業からの深い信頼へとつながっていると自負しております。

以下の方法における受託測定をお受けします。

- ・ 伝送特性測定（同軸タイプ）
- ・ 共振特性測定（共振器摂動法）
※薄膜も可能
- ・ 温度特性測定（共振器摂動法）
※薄膜も可能

受託測定の流れ



※1 材料の状態に応じて判断しますので、場合によってはお見積もりをお出しできない場合もございます。その時は、状況の進行に合わせてご相談しながら進めます。

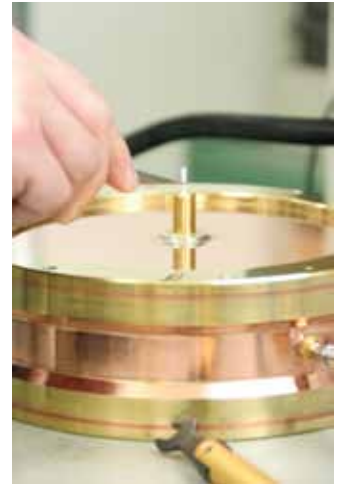
まずはご相談ください！



042-576-2921 FAX 042-573-6890



info@kead.co.jp



材料の加工依頼について

材料の加工依頼もお受けいたしますが、実費をいただきます（加工費は材料の性質によって変わります）。弊社では、計測精度を大切にしているため、職人によるフライス、旋盤等での加工を施すことで、寸法精度を高めています。

※材料の性質によっては、以下のようなことが起こる場合もございます。

- ・加工時に材料が溶けてしまう
- ・加工時に材料が変形してしまう（反り、曲がり）
- ・加工時に材料がポロポロと崩れてしまう（煎餅を削った時のように）
- ・削り出すと粘り気が出て、刃物に付着してしまう。
- ・その他（材料によっていろいろなことがあり得る）

このような場合でも、**加工器具と加工方法を工夫することで回避することができます。**

（例）加工器具を温めたり冷やしたりするなど（材料の特性が温度に対して変化しない場合のみ）

弊社では、長年にわたり、材料加工を依頼してきた熟練の職人と、材料について打ち合わせながらしっかりと加工いたします。加工についてご心配な点がありましたら、まずはご相談ください。

薄膜材測定の試料加工について

薄膜は、材料によって、加工する過程で、いろいろな問題が発生する場合があります。たとえば、測定前に静電対策を施さなければならない材料であることがわかったり、その他、加工時、測定時にアクシデントが起こる場合もございます。また、温度特性測定等を行っているとき、温度によって材料が断裂した場合は、測定は断裂する前までの温度での結果とさせていただきます。